

# 2016年度～2018年度に川崎医科大学附属高等学校において 高大連携行事のアンケートを受けられた生徒・学生さんへ

## —「医科大学附属高等学校との高大連携の取り組み (平成28年度～30年度)の検証」へのご協力のお願い—

研究責任者 川崎医科大学 高大連携担当副学長補佐 (微生物学) 沖野哲也  
研究分担者 川崎医科大学 附属高校担当学長補佐 (自然科学) 泰山浩司  
川崎医科大学 学生・学友会担当学長補佐 (生理学2) 宮本修

### 1. 研究の概要

川崎医科大学附属高等学校は全国で唯一の医科大学附属高校であり、医科大学と連携して、ドクターロードおよび医科大学入学前研修と称する高大連携行事を行っています。平成23～27年度の取り組みは、本学のホームページの内部質保障・大学評価のバナーの「高大連携の点検と評価2016(平成28)年」で紹介しています([http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/etc/document/tenken-hyouka\\_2016.pdf](http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/etc/document/tenken-hyouka_2016.pdf))。この研究の目的は、平成28～30年度の3年間の取り組みを生徒・学生さんのアンケートを基に、教育効果を検証することです。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2016年度～2018年度の間、川崎医科大学附属高等学校において高大連携行事(医師へのインタビュー・メディカルスクールアワー(MSH)・医科大学体験実習・医科大学入学前研修)で実施された授業改善のためのアンケートに応じた120名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年3月31日

#### 3) 研究方法

2016年度～2018年度3年間に、附属高校1～3年生に対して、高大連携行事で実施された、医師へのインタビュー・メディカルスクールアワー(MSH)・医科大学体験実習・医科大学入学前研修の4つの行事について、授業改善のアンケートの集計結果を附属高等学校から提供してもらい、教育効果を検証します。

#### 4) 使用する情報の種類

高大連携行事で実施された、医師へのインタビュー・メディカルスクールアワー(MSH)・医科大学体験実習・医科大学入学前研修の4つの行事のアンケートの集計結果 等

#### 5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学微生物学教室の研究責任者の下で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 6) 研究計画書および情報の開示

あなたのご希望があれば、情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は附属高校から提供されたアンケート結果に基づくもので、氏名などの個人を特定できる情報を含まないデータとして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学微生物学教室（高大連携担当副学長補佐）

氏名：沖野哲也

電話：086-462-1111 内線 26419（平日：8時30分～17時30分）

ファックス：086-462-1199

### <既存情報の提供のみを行う機関>

川崎医科大学附属高等学校 校長 新井和夫

川崎医科大学附属高等学校 教務部長 川上真美

川崎医科大学附属高等学校 教頭 小野光男

川崎医科大学附属高等学校 参与 大村泰士

## 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。